



男衾コミュニティセンターでの敬老会



移送サービス車両



非接触式体温計と空気清浄機



助成対象の太陽光発電設備の例(県ホームページより)

1 企業誘致…ホンダ寄居新工場 2013年稼働

引き続きまちづくりの最重点事業として、地域の協力と町議会並びに県の指導、支援を仰ぎながら、円滑な事業促進に努められました。稼働開始時期の延期発表によりスケジュールが変更されたものの、工事は順調に進められ、ことし3月には、家屋の内装や設備等の工事を除いて工場建物が完成しました。

2 生涯学習…男衾コミュニティセンター

ことし3月に施設が完成、6月から利用を開始。9月の敬老会では多くの方が利用しました。

3 福祉・保健…ふれあいサービス

社協の重点事業である「ふれあいのまちづくり事業」に助成を行い、ボランティア活動援助事業等を推進。地域福祉の増進が図られました。

4 子育て支援…新型インフルエンザ対策

空気清浄機を保育所(園)に97台、小中学校に135台設置。小中学校には非接触式体温計35台も配備されました。(事業費1,419万円)

5 環境の保全・整備…太陽光発電補助

環境への負荷の少ないエネルギー社会を実現するため、太陽光発電設備の設置者を対象に設置費用の一部を補助しました。(35件・事業費848万円)



9月定例会 (9/14～30…17日間)

- [本会議] 9/14・30…議案審議
- 9/15…一般質問
- 9/21・22…決算審議
- [委員会] 9/16…総務経済 9/17…文教厚生

平成21年度 決算認定

町のお金の収支

4年ぶり

100億円超

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の寄居町でのお金の収支(決算)について審議されます。ことしは、この平成21年度決算7議案を含め、平成22年度補正予算等合計23議案及び1件の請願について審議・審査が行われました。(審議の結果は13ページをどうぞらんくください)

一般会計決算に対する討論

賛成
討論
佐野千賀子議員
平成21年度決算は、歳出総額で前年度を11%も上回っている。地域の活性化、町民生活の安心・安全の確保に積極的に取り組まれた成果であり、国庫支出金や町債、財政調整基金から1億円を取り崩して、さまざまな政策課題に対応されたことは大いに評価できる。

今後の「より一層質の高い行政サービスを提供する」との方針に期待する。

反対
討論
田母神節子議員
町財政の健全と町民生活の満足度には大きなギャップ

国庫補助の増加により、種々の事業が行われたが、町民法人税は前年度同様落ち込んでいる。また事業の予定価格と落札価格に大きな差が生じたこと等が4億6000万円余の黒字決算の大きな要因。本当に安心できる結果なのか心配だ。

歳出面では、人件費の中で職員費が減少。正規職員よりも非正規の多い保育所があり心配。高齢者の足の確保についても具体化されず、本当に税金が生かされているのか実感できない。

一般会計は「前期基本計画」に基づき、事業を着実に実施

平成21年度寄居町一般会計は、5つの事業を最重点施策に掲げ、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」の「前期基本計画」に基づく事業を着実に遂行しながら財政構造の健全性にも配慮しつつ、効果的かつ効率的な行財政運営に努めました。

結果、歳入合計は前年度比10・9%増の105億6879万2000円、歳出合計も前年度比11%増の100億8934万4000円となり、ともに100億円を超える決算額となりました。